



平成 22 年 5 月 14 日

各 位

株 式 会 社 ゼ ク ス
代 表 取 締 役 社 長 平 山 啓 行
(コード番号：8913 東証第一部)
問 合 せ 先 常 務 取 締 役 増 田 達 哉
電 話 番 号 03-6890-1020(代表)

平成 22 年 5 月 期 第 3 四 半 期 報 告 書 の 提 出 断 念 及 び 当 社 株 式 上 場 廃 止 の 見 込 み に 関 す る お 知 ら せ

当社は、当社の会計監査人であります明誠監査法人から、平成22年5月期第3四半期の四半期報告書を提出するにあたり添付される金融商品取引法第193条の2第1項の規程に基づく四半期レビュー報告書の受領が困難となり、金融商品取引法第24条の4の7第1項に定める期間の経過後1ヶ月以内に平成22年5月期第3四半期の四半期報告書の提出を行うことができないこととなったため、株式会社東京証券取引所が規定する有価証券上場規程の第601条第1項第10号に定める上場廃止基準に抵触する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

記

1. 当該状況に至った経緯

平成22年4月13日付リリース「平成22年5月期第3四半期報告書の提出遅延並びに当社株式の監理銘柄（確認中）指定の見込みに関するお知らせ」にてお知らせしましたとおり、当社は平成22年5月期第3四半期報告書の提出が遅延しており、当社の会計監査人であります明誠監査法人と過年度決算の訂正の有無及び平成22年5月期第3四半期の決算について協議をしまいましたが、平成22年5月期第3四半期における当社グループの今後の事業計画及び資金計画等に関する見解の相違から、会計監査人辞任の意向を受けました。当社は、今後の事業展開及び資金調達に関する状況について説明し明誠監査法人との間で協議を続けてまいりましたが見解の相違が埋まらず、その結果、当社の会計監査継続について最終的な合意が得られなかったことから、平成22年5月期第3四半期報告書の提出を断念せざるを得ないこととなりました。

2. 今後の見通し

当社株式は、本日、東京証券取引所より、平成22年5月14日付をもって整理銘柄に指定され、1ヵ月後に上場廃止となる見込みです。

株主の皆様、お取引先をはじめ、様々な形でご支援を頂いております関係者の皆様方に、多大なるご迷惑、ご心配をお掛けしておりますことを心よりお詫び申し上げます。

当社といたしましては、シニアハウジング（健常高齢者向け住宅）の運営事業を含め、当社グルー

プにて営む事業を今後も継続してまいり所存でございます。また、一日も早くご入居者の皆様をはじめ関係者の皆様方にご安心頂けるよう努めてまいりたいと考えておりますので、当社グループの経営再建につきご理解とご支援を賜りますよう、改めて御願い申し上げます。

なお、今後の予定につきましては、改めてお知らせいたしますので、宜しく御願い申し上げます。

以 上

(参考) 最近3年間の連結財政状態及び連結経営成績

	平成19年5月期	平成20年5月期	平成21年5月期
連 結 売 上 高	58,906 百万円	84,264 百万円	12,575 百万円
連 結 営 業 利 益	6,294 百万円	4,524 百万円	△3,195 百万円
連 結 経 常 利 益	3,755 百万円	1,600 百万円	△6,051 百万円
連 結 当 期 純 利 益	1,663 百万円	△6,520 百万円	△9,211 百万円
1 株 当 たり 連 結 当 期 純 利 益	8,553.07 円	△29,739.53 円	△24,218.11 円
1 株 当 たり 配 当 金	1,200 円	0 円	0 円
1 株 当 たり 連 結 純 資 産	66,701.85 円	35,849.87 円	429.26 円
連 結 純 資 産	18,853 百万円	7,834 百万円	1,280 百万円
連 結 総 資 産	146,713 百万円	96,755 百万円	52,450 百万円

…